

みんな

市民とあゆむ

# 議会の



おかや市議会だより Okaya City Assembly News  
2025年（令和7年）4月25日発行

No.39/2025 Apr.

巻頭集

令和7年度  
**予算決まる!!**

一般会計予算233億1千万円（昨年度比4.1%9億1千万増）

P.2

P.3

見聞き  
特集

市へ政策提言書を提出!!

P.8

P.9



写真提供：地域おこし協力隊 宮島佑斗さん

岡谷市に来て2年目となる宮島さんが、岡谷市の魅力的なスポットを数多く紹介しています。先行きが不透明な時代と言われる昨今ではありますが、地域の力がとても大事になってきます。「地域おこし協力隊」は、地域で協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る国の取り組みです。「何気ない坂の上から街と諏訪湖と八ヶ岳が見られる素敵な景色。移住してきた私にとっては特別な景色です。」



NAGANO OKAYA LIFE





# 億1千万円 (昨年度比4.1%9億1千万増)

企業会計(136億1,832万円)・水道事業(14億2,527万円)  
下水道事業(29億3,376万円)、病院事業(92億5,928万円)

査を実施しました。委員から細部に渡り質問を行い、賛成多数により可決となりました。

## 総務委員会



議長

**今井 康 善**

駅周辺整備事業はビル解体への一歩となり将来のまちづくりの市民議論ができる貴重な機会となるよう期待する。



副委員長

**早出 す み 子**

暮らしに希望がもてる事業として補聴器補助、带状疱疹の定期接種への補助、学校給食費の2割補助などの取り組みに期待する。



委員長

**吉 田 浩**

端末更新による学びの環境の向上と教育改革のための教育DX推進(GIGA端末第2期整備)に期待したい。



**花岡 健 一 郎**

川岸学園整備事業をもとに、学童が心身ともに、健やかに成長できる事業に期待する。



**宇 野 香 二**

岡谷駅周辺整備の検討、川岸学園整備の推進、地域防災力の向上、魅力あるまちづくりの取り組みを期待する。

各委員の着目点

※今井浩一議員は欠席

## 社会委員会



副議長

**小 松 壮**

継続事業の課題をどのようにとらえているか、また市民ニーズの多様化にどのように取り組むかに注目をした。



**田 村 み どり**

岡谷市病院事業会計予算 安定的な経営基盤の維持と質の高い医療サービスの提供がどう盛り込まれているのか。



副委員長

**秋 山 良 治**

「デコツアーリズムin諏訪湖事業」は、環境だけではなく健康などへの効果も期待。楽しみながら参加できます!



委員長

**山 崎 仁**

市民の健康維持・新規事業内容及び、障がい者などに対する福祉施策の充実と体制強化に着目。



**上 田 澄 子**

新たな子育て支援や高齢者の補聴器購入補助などの事業が始まっている。さらなる福祉の充実を期待する。



**土 橋 学**

令和7年度岡谷市病院事業会計予算の医療機器更新に注目した。設備の充実により質の高い医療提供を期待する。

各委員の着目点



# 令和7年度 予算決まる!! 一般会計予算233

3月10日、14日の2日間、3常任委員会において、令和7年度の各会計について予算審

## 産業建設委員会



### 各委員の着目点

#### 丸山善行

イルプラザ館内空調設備改修工事に着目。市民への影響を最小限とした持続可能な公共施設整備に期待。

#### 酒井和彦

国の税収が過去最高を更新し、それによって地方交付税も増えるが、どれだけ増えて何に使われるかが着目した。

副委員長

#### 藤森弘

病院事業会計における一般会計からの繰入額の経過に注目した。安定経営に向けた更なる企業努力に期待する。

委員長

#### 渡辺太郎

旧庁舎保全事業は活用と一緒に検討すべき。市制施行100周年に向けての活用計画と全体工程表の策定が必要!

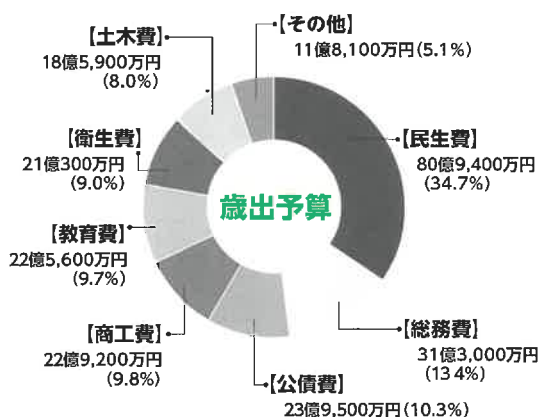
#### 笠原征三郎

福祉行政と並び道路行政は市政の大きな柱だと思います。そこで、道水路・橋梁維持補修費に着目しました。

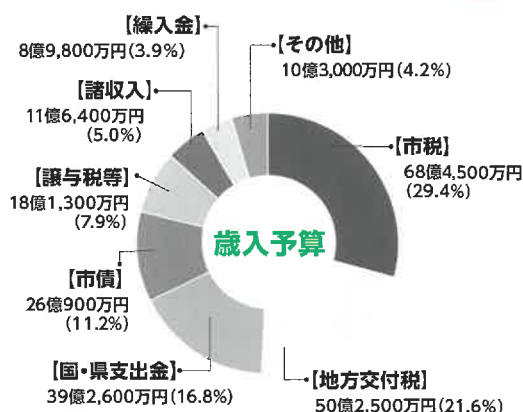
#### 中島秀明

予算編成のベースとなる歳入状況とその財源確保に向けた取り組みと、今後想定される事業のための起債に注目。

### 歳出予算 233億1,000万円



### 歳入予算 233億1,000万円



### 令和7年度 一般会計予算の状況

#### ○本会議における討論

##### ◆反対討論

・物価高が続く市民の生活は大変厳しいが、このことに対する予算計上がされていない。この地域を支えている中小の企業向けの支援が十分ではない。

・川岸学園整備事業に関して、ハード面が先行し、ソフト面の施策などの検討が後からとなっている。

・国保加入者に向け、一般会計からの法定外の繰り入れを実施すべきである。

・正規職員と非正規職員(会計年度職員)の割合の是正がされていない。

##### ◆賛成討論

・駅周辺整備、川岸学園整備、公共施設の老朽化など、将来に向けて大きな投資に取り組むとともに、「子育てしやすい環境の実現」、「安全・安心の伸展」、「未来に向けた産業の充実」、「魅力発信と賑わいの創出」の4つを重点施策に掲げ、各種事業の選択と集中を図るなど、限られた財源を効率的かつ効果的に配分し予算編成がなされている。

・市民のための施策が行われ、将来に向けた施策が着実に進められている予算となっている。

・健全財政を守りつつ、重点プロジェクトを進めるために必要な予算となっている。

#### 特別会計予算

| 区分        | 令和7年度予算額   |
|-----------|------------|
| 国民健康保険事業  | 41億8,040万円 |
| 地域開発事業    | 2億3,050万円  |
| 分収造林事業    | 2,590万円    |
| 霊園事業      | 2,320万円    |
| 温泉事業      | 2,200万円    |
| 後期高齢者医療事業 | 10億9,410万円 |
| 湊財産区一般会計  | 180万円      |

# ズバリ! 市政に問う!

令和7年  
第1回定例会(3月)

ダイジェスト版

| 質 問                       | 議員名    | ページ |
|---------------------------|--------|-----|
| 子育ての不安に寄り添う市の姿勢は?         | 土橋 学   | 4   |
| 岡谷市保健委員連合会の解散理由は?         | 藤森 弘   | 5   |
| 外出困難な高齢者の投票機会保証について市の考えは? | 上田 澄子  | 5   |
| ガバメントクラウドの現状と準備状況は?       | 秋山 良治  | 6   |
| 昨今の物価高騰への具体的な対策の考え方は?     | 田村 みどり | 6   |
| 川岸学園整備事業の取り組み状況は?         | 丸山 善行  | 7   |
| 鳥居平やまびこ公園のキャンプ場整備での将来展望   | 山崎 仁   | 7   |
| 長引く物価高から市民の生活を守る支援策を      | 笠原 征三郎 | 10  |
| 学校給食費無償化に向けた今後の考え方は?      | 花岡健一郎  | 10  |
| GIGAスクール構想の一人一台端末の活用状況は?  | 渡辺 太郎  | 11  |
| 岡谷市公式ホームページの課題認識や市民の声は?   | 吉田 浩   | 11  |
| いじめ防止対策の現状は?              | 酒井 和彦  | 12  |
| 災害時の避難者のための携帯トイレの備蓄は?     | 宇野 香二  | 12  |
| 岡谷市の歳入の状況                 | 中島 秀明  | 13  |
| 市内の訪問介護事業所の現状は?           | 早出 すみ子 | 13  |

## 一般質問

●議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めたり、質問をすることです。  
年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

●質問順は、“くじ”で決めています。

※掲載内容は質問者の文責によるものです。

## ▶ 岡谷市公式チャンネル

★各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。スマートフォン等からアクセスしてご覧ください。



A

「子どものく」や保育園の交流

状況は?

Q 子どもの遊び場や居場所の整備

る。

A 乳幼児健診を通じて早期発見し、保健センターや「子ども発達支援センター」で療育を実施。保育園巡回や就学相談を行い、作業療法士や支援コーディネーターと連携して、子ども一人ひとりに合った支援を進めている。

は?

Q 就学前の発達支援の取り組み

ン相談の導入を検討している。

A 「まゆつこベースおかや」では、発達や就学、虐待などの相談を受け付けている。核家族化で孤立しがちな家庭への支援が課題で、相談窓口の周知強化やLINEなどのオンライン相談の導入を検討している。

取り組みは?

Q 子育て相談の現状と周知強化の

子育で相談と発達支援の充実



土橋 学



A

子ども家庭センターを中心に、発達や養育の悩みに寄り添う支援体制を整えている。今後も相談しやすい環境づくりを進めます。

Q 子育ての不安に寄り添う市の姿勢は?

境の維持に努める。

A 「特定屋外喫煙場所」を庁舎敷地内に設置し、紙巻きたばこは禁止。市職員には喫煙マナーの周知を徹底し、カノラホールや周辺施設での喫煙を控えるよう指導。適切な喫煙環境の維持に努める。

マナーは?

Q 市役所の喫煙環境と職員の喫煙

市役所の喫煙環境の整備

A 第1〜3駐車場を巡回し、混雑時は誘導員を配置。無断駐車や長時間駐車には警察と連携し対応。職員駐車場も適切に管理し、病院利用者の利便性向上を図っている。

は?

Q 病院駐車場の管理状況と課題

岡谷市民病院の駐車場管理

施設、諏訪湖ハイツのプレイルームを活用し、小学校低学年まで遊べる環境を整備。イルフ童画館の「はらっぱ」では全年齢が無料で利用可能で、居場所づくりに取り組んでいる。



子育て支援の充実



Q 岡谷市保健委員連合会の解散理由は？

A 昨今の家族構成・就労環境等の変化、新型コロナウイルス感染症の影響等で、各区での健康教室や学習会等の参加者が集まらず、役員のなり手不足もあり解散に至った。



藤森 弘



Q 岡谷市保健事務嘱託員制度の今後は？

A 市民ニーズとのずれが見られ、今後は地域の実情や現代のライフスタイルに合わせた健康づくりへと発展させることとして廃止を決めた。

Q 各区の健康づくりのための活動費の補助はどのようになるのか？

A 行政事務交付金に組み替えて、地域における健康づくり推進活動を支援する。

STEAM教育の現状と今後

Q 教科横断的な教育としてSTEAM教育の推進が提唱されているが岡谷市の現状は？

A 科学(サイエンス)、技術(テクノロジー)、芸術(アート)、工学(エンジニアリング)、数学(マスマティクス)の内、Aについては芸術(アート)だけではなく、文化や生活、経済、法律、政治、倫理等、幅広い範囲で定着し、

推進することが重要とされている。

小中学校では総合的な学習の時間の中で、教科横断的な学習や探究的な学習、プログラミング学習など、STEAM教育の要素を取り入れた学習活動等に取り組んでいる。

本市はものづくりのまちであり、岡谷の「ひと、もの、こと、ころ」を学ぶ独自のカリキュラムとして構築している「岡谷スタンダードカリキュラム」の中にもSTEAM教育につながるメニューを用意している。市独自に実施するロボットプログラミング学習や、地元企業を紹介する中学メッセ、ものづくりフェア等により、子どもたちが科学技術の分野に興味を持てるような取り組みを推進している。

Q おかやのまちじゅう学園化構想の狙いは？

A 川岸学園構想をパイロットモデルに、幼保小中がつながる新たな学びの環境づくりや体制づくりを市内全域に展開したいと考えている。



ロボットプログラミング

Q 外出困難な高齢者の投票機会保証について市の考えは？

A 一定の条件はあるが郵便投票や不在者投票が可能。移動投票所の導入は、投票所の廃止や統廃合により新たな投票所が遠くなった場合などの導入例があるが、本市では当てはまらない。



上田 澄子



Q 投票率向上の取り組みは？

A レイクウオーク岡谷での期日前投票所設置や、チラシでの周知、選挙当日の投票所の運営改善に努めている。

Q 期日前投票所の増設は？

A 長地・湊・川岸支所とカルチャーセンターでは、システムは運用可能だが人的配置等課題がある。

3歳未満児保育料無償化について

Q 3歳以上児の保育料は無償だが、その効果は？

A 国の政策で実施されており、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもが平等に安心して成長できる環境となっている。

Q 3歳未満児の保育料無償化の実現は？また、この無償化で働き手が増え、市のPRにもなると考えるが？

A 国の保育料上限額の基準以下に設定している。第2子は半額、第3子以降は無償。また、一定の条件を満たす家庭では無償。働き手の不足解消や市のPRにつながる可能性はあるが、保育所の整備や保育士の確保、財源確保が必要。

防災・減災の取り組みについて

Q 市の耐震改修促進計画における耐震化目標の現状は？

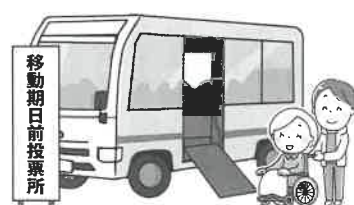
A 昭和56年以前の建築物に対しては無料の耐震診断や、耐震改修等の助成を行っているが、目標達成は難しい。昭和56年以後の建物の診断や改修補助の創設は国や県の動向をみて研究していく。

Q 避難所の現状については？

A 21区の公民館のうち耐震診断・改修未実施が5区残っている。

Q 危機管理室の女性職員配置は？

A 地域連絡員は約3割が女性。危機管理室は休日夜間も参集する必要がある、24時間体制にもなる。職員配置は適材適所でやっていきたい。



投票機会の保証

Q ガバメントクラウドの現状と準備状況は？

A 諏訪6市町村で共同依頼し、自治体情報システムの標準化対象の20業務の基幹系システムを調達。令和7年度末までに標準準拠システム移行のため準備を進めている。



秋山 良治



Q クラウドサービス事業者は？

A アマゾンウェブサービスのクラウドを利用することとなる。

Q 安全性は？

A ISO/IEC27001を取得し、安全性を確保。24時間365日、データセンターを監視。情報は暗号化し第三者に漏れることを防ぐ。

Q ミドル建て為替リスクは？

A ミドル単価契約のため為替の影響があり、ガバメントクラウド利用で本市の負担は増える。

Q 移行後、市民の利便性は？

A 基幹系システム更新のため、市民への直接的な影響はない。

Q 国産である、さくらクラウド選択の可能性は？

A 次回更新時に、さくらクラウド選択の可能性もある。

スマートフォン・タブレット等、電子メディアの弊害について

Q スマホ等電子、メディアの弊害と取り組みは？

A 乳幼児期からの過度な使用や接触により様々な影響を懸念。特に2歳以下では発達を阻害する恐れあり。健全な育成を阻害しないよう啓発を行う。

Q アウトメディアチャレンジは？

A テレビやゲーム機、スマホに没頭しすぎることで子どもたちの視力低下などが課題。市内では岡谷田中学校で取り組んでいる。

Q 市内小中学校へ普及の考えは？

A 先ずは、先行して取り組んでいる学校の様子などを、市の校長会や保健委員会等で共有したい。

「満蒙開拓平和記念館」での平和体験研修の結果について

Q 平和教育の狙いや意義は？

A 今年は戦後80年。戦争経験者が少なくなり身近な方から直接聞く機会が失われつつある。子どもたちが主体的に考え行動する力を育んでほしい。



スマホ依存に気を付けよう！

Q 昨今の物価高騰への具体的な対策の考え方は？

A 物価高騰により影響を受けている市民生活を支援するとともに、市内での消費拡大による地域経済の活性化に寄与する、全市民が購入できるプレミアム商品券事業をR7年度に実施していく。



田村みどり



Q 早出市政2回目となるR7年度の予算編成は3年ぶりの減額方針でありましたが、予算規模が過去3番目の大きさとなったことについての捉え方は？

A 将来に向けて実施しなければならぬ大型事業・施策が重なることにも、原油・物価高騰等に各経費の増加が見込まれることから、「マイナスイーリング」による予算編成とした。時代の変化や潮流をしっかりと見極めながら、私自身の公約も盛り込み、必要な時期に適切な投資・事業を行うために不可欠な予算を積み上げた結果である。

岡谷市プロモーションイベント

Q 初のシティプロモーション「信州岡谷市プロモーション」を開催した目的は？

A 岡谷市を認知してもらい、移住定住の促進や観光などによる関係交流人口を創出するために、岡谷市移住

定住交流推進庁内連絡会に所属する複数の部署の協働によって本市の魅力、特徴、暮らしなど総合的にPRを行った。

Q 今後、岡谷市の成長・発展には、シティプロモーションは重要と考えるが今後の在り方は？

A 岡谷市の知名度向上を図るため移住交流推進庁内連絡会において情報共有を行いながら、目的に応じ横断的に岡谷市をPRしていく。

岡谷市内における創業の取り組み

Q 今後、岡谷市内における創業支援の取り組みの考え方は？

A 新規創業者が増えていくことで新たなアイデアや技術、市内企業との協業、雇用の創出のほか市内での創業の機運が高まることにより、経営者の高齢化による廃業を回避した事業継承やM&A等に結び付くことも期待できるため岡谷商工会議所、金融機関と連携しながら継続して支援を行う。



まちどおしい  
岡谷市プレミアム商品券



**Q** 川岸学園整備事業の取り組み状況は？

**A** 令和7年8月頃から仮設校舎の建設に着手し12月頃に完成後、認定こども園の建設地となる教室棟西棟の解体を進めていく。概算事業費は現時点で44億6千万円。



丸山 善行



**Q** 用途廃止の進捗状況は？

**A** 前期対象の出の洞、橋詰、高尾、中村、小萩で40世帯中4世帯で36世帯の減。高尾、小萩は移転終了。4月から後期の富士見ヶ丘と上の原を追加。

**Q** 跡地利用の考えは？

**A** 検討を重ねている。方針決定前に地元区の意見を参考に相談しながら進めていく。

**Q** 「まゆっこベースおかや」設置事業

**Q** 相談件数は？

**A** 令和7年1月末現在7024件。

**Q** 行政に相談できない家庭へのアプローチは？

**A** 支援を必要としている家庭が潜在化していることは課題の一つとして認識、相談したいのに自ら発信できない事例や虐待、ヤングケアラーに関する深刻な事案も早期に支援し、令和7年度から子育てファミリー訪問支援事業や「トワイライトステイ事業」などを新たに実施していく予定。

**Q** 特別支援教室の配置はどのように決定されたか？

**A** 何かトラブルがあった時に他の大人がすぐに対応できる職員室近くに配置した。ただし、学校の方で柔軟に配置することが通例。

**Q** 市営住宅の入居者の状況は？

**A** 管理戸数15団地で566戸、入居戸数は376戸で65歳以上の高齢者世帯は181戸、障がい者世帯は57戸、子育て世帯は54戸。



想いを形に

**Q** 鳥居平やまびこ公園のキャンプ場整備での将来展望

**A** 設置の可能性はあると判断できるが、整備費や管理方法など課題も多い。公園利用者の声を聞きながら検討する。



山崎 仁



**Q** やまびこ公園の今年度発注された、アウトレジャー施設のための調査結果は？

**A** やまびこ公園は岡谷インターチェンジに近く、関東や東海圏、北信越など多方面から集客が見込めるが、キャンプ場整備には、安心安全で利便性の高い施設などのハード面を段階的に充実させ、ソフト面でも民間企業との連携により充実させる必要があるとの結果だった。

**Q** 屋外サウナを県でも推奨しているようにだが、市の取り入れに対する考えは？

**A** 屋外サウナなど個々の施設の設置については、今後の公園利用者のアンケート等を通じて、設置の可能性を検討する。

**Q** 開園してから40年近く経過しており、園内駐車場、道路、通路から目的施設へのアクセスが不便との声がある。改良・移設の考えは？

**A** やまびこ公園は岡谷インターチェンジに近く、関東や東海圏、北信越など多方面から集客が見込めるが、キャンプ場整備には、安心安全で利便性の高い施設などのハード面を段階的に充実させ、ソフト面でも民間企業との連携により充実させる必要があるとの結果だった。

**Q** 各区が市の配布物について負担が大きいと聞くと、負担軽減の考えは？

**A** 配布物を必要最小限にし、「広報おかや」の配布日にまとめるなど、区長会と協議のうえ、引き続き各区の負担軽減に努める。

**Q** 区への配布物について行政事務交付金が交付されているが、もう少しなんとかならないか、見直しの考えは？

**A** 行政事務交付金の見直しは5年毎に行っており、令和7年度に見直す予定。区長会と協議のうえ進めていく。



やまびこ公園の活用の可能性は？



# 市へ政策提言書を提出!!

市議会基本条例に基づき、市内の様々な課題の解決に向け、現状の分析、先進事例の研究を行い、多角的な視  
 び提言を行っています。

(総務委員会、社会委員会、産業建設委員会)では、令和5年6月から令和7年1月にかけて、課題の調査、研究、  
 との懇談会・意見交換会、勉強会等を各委員会で20回程度開催し、議論を深め、提言書(案)を作成しました。  
 る政策討論会議を2回開催し、3月6日、各常任委員長より市へ提言の概要説明を行い、議場にて提出しました。  
 言について「各担当部署にて研究をしながら、各種施策の立案の参考とさせていただきたい」とのお話をいただきました。

## 政策提言の内容

### 総務委員会

民間の力を引き出す公民連携の仕組み作り  
 ～岡谷市における公民連携の推進による  
 エリア価値向上と市民生活の充実～

市が直面する少子高齢化、人口減少、公  
 共インフラの老朽化といった課題を克服し、  
 地域の価値を高め、持続可能な行政運営  
 を実現するために、従来の行政主導型のア  
 プローチに加え、民間主導で公共サービス  
 を提供する公民連携のスキームを活用した  
 新しい形の自治体運営が必要と考えます。

提言1 公民連携推進体制の整備

提言2 公民連携事業の制度整備と  
 透明性確保

提言3 公共資産の有効活用及び地  
 域再生と地域課題解決にむ  
 けた民間活力の活用

### 社会委員会

障がい者の自立に向けて

～すべての市民が支えあい、

こころ豊かになるまちを目指して～

全国的に障がいのある方や発達に支援が必要な児童が増加傾向にあり、  
 ご本人やその家族が抱える課題も複雑化・複合化するなど、取り巻く環  
 境は大きく変化する中、国や県が取り組んでいる福祉サービス



総務委員会 吉田浩委員長

社会委員会  
 政策提言書



総務委員会  
 政策提言書





# 特集

市議会では、岡点から政策の立案3つの常任委員現地視察、各種にさらに全議員に早出市長からは

## 産業建設委員会

地域資源を活用した観光の振興  
地域経済の活性化に向けて

提言1 障がい者をトータル的にサポートする専門・支援チーム(課)の新設

提言2 岡谷市民病院において、障がい者をワンストップ体制で診療していただく、専門窓口の設置

提言3 障がい者と市民が共に集い「遊びや学び」を通じて交流のできる施設の整備

提言1 サイクルツーリズムの推進

提言2 郊外都市公園の積極的活用

提言3 天竜川流域における広域連携の推進

産業建設委員会  
政策提言書



産業建設委員会 渡辺太郎委員長

社会委員会 山崎仁委員長

が適切に雇っているか調査し、必要な対策を実施することが急務であると考えます。

**Q** 長引く物価高から市民の生活を守る支援策を

**A** 住民税非課税世帯・均等割りのみの課税世帯を対象に支援を実施。全市民対象のプレミアム付き商品券の発行を考えているが、2度にわたっての50%は財源的に無理だ。



笠原征三郎



プレミアム付き商品券の発行は50%を望んでいる

**Q** 物価高騰から市民の暮らしを守るためには基金の取り崩しを考えたべきだ。

**A** 当初予算では既に9億円の取り崩しを考えている。これ以上は出来ない。

**Q** プレミアム付き商品券の発行はいつごろになるのか？

**A** できるだけ早く考えているが、6月定例会議になる。

TOCO-TONと

川岸学園構想との関係は

**Q** TOCO-TONに岡谷市がなぜ手を挙げたのか？また、川岸学園構想との繋がりとは？

**A** 「おかやのまちじゅう学園化構想」として、川岸学園構想をパイロットモデルに、幼保小中がつながる新たな学びの環境づくりの市内全域への展開などを提案した。



急激な物価高騰

**Q** 小学校と中学校が隣接している川岸地区と異なり、離れた場所での小中一貫校のイメージは？

**A** 丁寧に、地域や保護者と相談調整しながら、中学校への進学先を整理し直す。

福祉医療費給付金の充実

子どもの医療費の完全無償化

**Q** 子どもの医療費の窓口負担金完全無償化は子育て世帯の強い要望となっている？

**A** 医療費負担無償化を実施する市町村が増えていることは認識している。しかし、無償化には新たな財源が必要。

**Q** 県内19市と諏訪圏域の状況はどの様になっているか？

**A** 県内では19市のうち9市が実施、または実施予定。諏訪圏域では原村が無償化を実施している。

**Q** 学校給食費無償化に向けた今後の考え方は？

**A** 今年度は、給食費無償化に向けた段階的支援策として、給食費の約2割の公費負担を実施、更なる子育て支援の充実、子育て世帯への経済的支援の充実を図っていく。



花岡健一郎



**Q** 「学校給食費、無償化」を公約にした理由は？

**A** 岡谷市の一番の課題は人口減少。その対策の為、子育て支援の充実に取り組み、子供を産み育てやすいまちを目指すことが最も重要と考え、公約にした。

**Q** 国の、子ども家庭庁がまとめた「令和4年度少子化の状況及び少子化への対処対策の概況」、「子ども若者や子育て当事者を取り巻く現状」として、「理想のこどもの数を持たない理由」の第一が「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」としている。具体的な対策の取り組みは？

**A** 低所得の子育て世帯を対象に、学校給食費の完全無償化した。その他に、物価が高騰し学校給食費に影響が及んでいる。値上げせざるを得ない状況にある。そうした中、小学校については一食あたり320円のう

ち30円を、中学校については、一食あたり385円のうち55円を公費で負担している。

**Q** 地域福祉推進についての体制は？

**A** 地域社会の様々な課題を解決するため、各区に、区長を主とする地域住民と行政、専門職のつながり、住民同士の間を重なりながら支援の必要な人を、地域全体で支える体制づくりを進めた。



地域のつながりが大切



**Q** GIGAスクール構想の一人一台端末の活用状況は？

**A** 授業で週3回以上から、ほぼ毎日使用した割合は、岡谷市の小学生は67%、県55%、国59%。中学生は市58%、県63%、国64%。着実に活用が進んでいる。



渡辺 太郎



ら本格運用していく。

**Q** 旧端末のデータ消去の認識は？

**A** 児童生徒の個人情報等が保存されており適切なデータ消去や廃棄処分が必要と考えている。

市民生活の安全対策

**Q** タブレット端末による誰一人取り残されないデジタルならではの教育が充実してきている。特別支援学級などへの具体的な活用は？

**A** 不登校の児童生徒のWEB授業や自宅でのドリル学習に活用。外国語籍生徒は日本語と母国語の翻訳、特別支援学級では識字に課題のある子供に文字を大きくし認識し易くするなど、子供達に寄り添った授業をし易い環境になった。

**Q** ICTの活用で子供達の学校に対する満足度は向上しているか？

**A** 学校に行くのが楽しいと答えた児童生徒は、小学校87%、中学校88.9%で上昇している。

**Q** GIGA端末の更新計画は？

**A** 更新する端末台数は予備機を含め3422台、機種はiPad。県による共同調達を利用しリース契約で令和7年度中に整備し令和8年度か



武井武雄  
『地上の祭より(空想) 1938年

**Q** 地下水マネジメントの考えは？

**A** 過剰な取水等が行われた場合、地盤沈下といった可能性があるが、市公害防止条例で取水の制限がある。持続的な地下水利用には、地下水マネジメントは有効と考える。

洞調査等実施の考えは？

**A** 下水道管の点検を実施し、直ちに道路陥没につながる様な異常個所はなかった。路面下の空洞調査には多額の費用が掛かるなどの課題がある。最新の動向に注視し有効な手法について情報を収集する。

**Q** 八潮市で陥没事故が発生した。事故の未然防止のため、路面下の空洞調査等実施の考えは？

**Q** 公式ホームページのアクセシビリティやセキュリティは？

**A** 市民に必要な情報がより効率的に伝わり、誰もが使いやすいホームページの実現を目的として令和2年に更改。高齢者や障がい者も含めた、誰もが情報を取得でき、アクセシビリティがあり、アクセシビリティに配慮している。セキュリティ面については保守ベンダーによるサーバーなどに対する定期的な監視やウイルスチェック、データの暗号化による情報漏えい対策やセキュリティホールなどの脆弱性に対するセキュリティパッチの適用など、セキュリティの向上が図られている。



吉田 浩



**Q** 岡谷市公式ホームページの課題認識や市民の声は？

**A** 古い情報が表示されることや欲しい情報にたどりつけない等、情報へのアクセスのしづらさに課題があると考えている。市民からの声については特段いただいていない。

しい。また、LINE公式アカウントでは、もっと積極的に市民が欲しいと思う情報を発信してほしい。プッシュ型とプル型の情報を組み合わせで発信することで、より市民に情報が伝わると思うが市のお考えは？

**A** 公式ホームページは、多くの情報を掲載するよう努めたいと考える。また、欲しいと思う情報に簡単にアクセスできるよう、次回の更改の際には十分検討したい。

公式LINEアカウントは、プッシュ型の強みを活かして登録者にとつて有益な情報を今後積極的に発信できるように努める。公式ホームページで情報発信しつつ、より市民に必要な情報をLINE公式で発信する仕組みを整えるため今後さらに研究したいと考える。



市HP等の利便性の向上

Q いじめ防止対策の現状は？

A 市のいじめ等防止の基本方針に基づき、早期発見・早期対応に努めているほか、校内にいじめ防止対策推進委員会を設置。児童相談所や警察職員で構成されるいじめ問題対策協議会、弁護士や精神科医師等の学識経験者で構成されるいじめ問題対策調査委員会を開催。



酒井 和彦



Q 教職員や部活動の地域移行の指導者による非違行為への対応は？

A 教職員によるものは学校に事実確認を指示し、市教委と県教委に報告。被害児童生徒の心のケアのため、他の教員やスクールカウンセラーが対応。部活動指導員は市職員として対応。地域移行後の指導者については国・県の指針を参考に受け皿となる地域クラブと調整しながらしくみづくりなどを考えたい。

市役所の男性職員の  
育休取得について

Q 男性職員の育休取得状況の近年の推移は？

A 令和3年度の0名を除き、2年度から5年度まで各1名。

Q 他自治体の先進事例などについての考えは？

A 他自治体と同様に特定事業主行

動計画に沿って対応。

印刷物等のイラスト等における男女比について

Q 過去の『広報おかや』ではイラストの人物は男性に偏っているものがあつたが最近はどうか？

A 性別や年齢に偏りがなくよう配慮。

Q ガイドラインなどは？

A 自主的な配慮に基づいている。

Q 要望 1 他部署で今年作られた印刷物で男性側に偏りの大きいイラストが使われた例もある。庁内で共通のガイドラインを設定し、ジェンダーバイアスが生じないように取り組んでほしい。



男性も育休取得を

Q 災害時の避難者のための携帯トイレの備蓄は？

A 令和7年度から実施予定の大規模地震対策備蓄物質強化事業により、計画的な整備を進めていく。災害時のトイレ環境の整備は非常に重要な課題と認識している。



宇野 香二



Q 大規模災害が起きた場合、現在の避難所での対応が可能か？

A 現在の指定避難所の想定収容人数は1万1449人で、大規模災害時に対応が可能と考えているが、今後も避難所の確保に努めていく。

Q 避難所開設・運営マニュアルの作成や訓練がされていない所があるが円滑な開設・運営が可能か？

A マニュアル未策定の区にはガイドラインを配布したり、相談体制を整えている。実践的な訓練を行う中で、避難所開設時に円滑な対応が図れるように取り組んでいる。

Q 国の補助金を活用しての学校体育館の空調整備は、教育環境の向上と避難所の環境改善にもなり、行うべきと考えるが見解は？

A 避難所の被災者支援にもなり、体育館の空調整備が進む事は有り難い。今後の研究課題にしたい。

孤独・孤立対策の市の取り組み

Q 孤独・孤立対策推進法と重点計画を踏まえた市の取り組みは？

A 単身高齢者等への終活支援事業や、ひきこもり状態の人への社会生活の適応支援、相談支援等を行っている。今後法の趣旨を踏まえ、地域福祉の推進に努めていく。

認知症支援の市の取り組み

Q 認知症基本法や認知症施策推進基本計画に基づき、岡谷市としても認知症施策推進計画を策定して、施策の推進を図るべきと考えるが、見解は？

A 今後、更なる認知症施策の推進を図るため、「新しい認知症観」の理解促進や長野県認知症施策推進計画を基に施策の拡充を図るとともに、次期の高齢者福祉計画については、認知症施策推進計画を包含する形で策定したい。



携帯用トイレの備蓄



## Q 岡谷市の歳入の状況

**A** 人口減による歳入減少を補う財源確保に取り組んでいく。



中島 秀明



## Q 一般会計予算の歳入の状況は？

**A** 歳入総額233億一千万円で市税29.4%、地方交付税21.6%、国庫支出金11.3%等。その内の自主財源は全体の42.6%で、前年比1.6ポイントの増である。市債は23億1080万円で近年では比較的多い額になっている。

## 将来にわたる歳入と財源の確保

## Q 歳入と財源確保への取組は？

**A** 歳入の約3割となる税収はスマホアプリ決済等のキャッシュレス納付等の納付方法の拡大で収納率向上を目指しており、自主財源の確保にはふるさと納税の促進、未利用財産の売却や有効活用のほか、職員提案等で職員の創意工夫により取組んでいくほか、新たな制度や法改正に対応できる様に国や県への派遣職員を介して情報収集と把握をすることで国庫補助金等の財源を最大限確保していくことで市債の借入れ等を抑制し

ていく。

【要望】税金納付等にオカヤペイの活用、ふるさと納税等の自主財源確保に民間連携を含む全市民的な仕組づくり、依存財源確保に向けた国・県との更なる連携強化及び将来負担となる市債の抑制を要望。

## Q 児童遊園等の維持管理体制は？

**A** 19の都市公園の内、やまびこ公園等の3公園は「公財 おかや文化振興事業団」が、16公園は市が管理している。70ヶ所の児童遊園は5ヶ所が市管理で65ヶ所は区、神社及び個人所有の他、市有地もあることから地元で地域の方々の協力により維持管理している。



【市内の児童遊園】

## Q 市内の訪問介護事業所の現状は？

**A** 市内の14の事業所は訪問介護報酬の引き下げで運営が厳しく、燃料費の高騰の影響もあり、他のサービスを併用できない事業所は大変苦慮されている。



早出すみ子



## Q 市民、事業者、ケアマネジャーの声は？

**A** 市民からは希望するサービスは受けられている。訪問回数や職員の業務量の調整、他のサービスへの手配など苦労がある。

## Q 市としての支援策は？

**A** 具体的な支援を行うことは難しい。県から、「長野県高齢者福祉施設等価格高騰対策支援事業」の実施がある。

## 带状疱疹ワクチンの定期接種は？

## Q 概要は？

**A** 対象は65歳以上で5歳刻みで令和11年度までの措置。接種費用は6市町村で調整し、一部助成する。

## Q 任意接種者への補助は？

**A** 助成の拡充は考えていない。

## Q 不登校対策は？

**A** 現状は？  
令和5年度は120名。小学校

では5年と6年、中学校では2年、3年に多い。

## Q 不登校の要因は？

**A** 複数あり、学校以外の多様な場での学び方や過ごし方が認められるようになってきたこともある。

## Q 不登校対策の評価は？

**A** 不登校支援コーディネーターを配置し、個別に児童生徒と家庭をサポートしている。今年度長地小学校に中間教室を設置する。

## Q フリースクールとの連携は？

**A** 多様な学び支援コーディネーターが訪問している。

## Q フリースクール利用者への補助は？

**A** 他市町村の動向等に注視しながら、検討する。

## 【要望】すべての子どもに学びの保障を。



ひとり一人の居場所をみつけよう

令和7年 第1回定例会 (主な議案の審査  
審議結果)

令和7年2月18日から3月17日までの28日間の会期で開かれ、報告案件2件、議案37件等が審査されました。主な審議結果は次のとおりです。

◆議案第25号

令和7年度岡谷市一般会計予算

3常任委員会での主な討論

総務委員会

- ・会計年度任用職員の割合過多、正規職員との格差の課題がある。また、生活困窮に寄り添った施策展開がなされていないため、本議案に反対する。
- ・健全財政を守りつつ、将来への礎、未来を育む予算として、安全安心の市民生活のため、防災行政無線のデジタル化、自治体情報システムの標準化、子育て支援として学校給食費の保護者負担の軽減、青少年の健全育成、市民総合体育館大規模改修の費用等が盛り込まれていることから本議案に賛成する。

社会委員会

- ・物価高騰対策において、政策が充分でない。国民健康保険事業において法定外の繰り出しを行っている。
- ・学校給食費完全無償化になっておらず、高齢者の医療費窓口負担を下げるものになっていないため反対する。

担を下げるものになっていないため反対する。

- ・市民の生活の最も身近にある健康福祉環境等の事業及び次世代を担う子供たちの育成事業などが数々丁寧に織り込まれ、高齢者など福祉事業、また環境に関するなど、様々な事業に取り組む予算となっていることから本議案に賛成する。

産業建設委員会

- ・道路行政においては、各区からの要請や市民からの要望に対応するための予算がまだ少ない。市営住宅は廃止される住宅も多数あり、安価で若い夫婦が住める住宅が必要と考えることから本議案に反対する。
- ・諏訪湖SICの完成もあり、内外の人にとって憩いの場などの基盤整備の予算がしっかりと盛り込まれている。
- ・市の工業の発展に資する施策のほか、新規就農者支援も評価できるものであり本議案に賛成する。

◆請願第5号

「岡谷市議会議員定数などを求める請願」が市民から提出されました。議会運営委員会に審査付託され、提出者の意見陳述をおこない、「採択」すべきものと決定。

※のちに、本会議において賛成多数により採択。

◆請願内容

- 1 次回岡谷市議会議員選挙から、現在の議員定数を削減すること
- 2 議員報酬額の見直しに向け「岡谷市特別職報酬等審議会」開催を市長に要請すること
- 3 市民の民意を反映できる議会とするための議会改革を継続すること

◆議会運営委員会での主な質疑等

請願に至った理由、アンケートの回答者数について、削減後の委員会の構成、削減数等について質疑がされた。

また、過去に定数削減について、9回にわたって議論を重ねた経緯から、継続審査の申し出があったが、賛成少数により否決となった。さらに、議会改革検討委員会では不採択となったときに、議会として取り組まないと決めたが、請願として扱うのはどうか、との発言があったが、議会が検討を終わりにしたとしても、議員個人の活動は制限されるものではないので、市民からの請願は検討しなければならぬ、との意見があった。

◆議会運営委員会での主な討論

議員のなり手不足の問題が議員定数削減の問題となっている。アンケートの周知について疑問である。人口からみて県内、また全国でも多いと思えない。定数を減らせば、新たに議員になろうとする方や女性等の立候補のハードルを上げてしまい、逆効果である。議員報酬については、アンケートではどの項目も半数にも満たず、その時期ではないと考えるため不採択とすべき、との意見があった。

一方、請願者は、定数割れ無投票を受け、いち早く議員との意見交換会を開催し、シンポジウムや対話集会などにも積極的に参加されている。各議員の考えをしっかりと聞いた上で、しかるべき手順、タイミングで出された請願書であり、3つの請願事項も方向性が一致していることから、採択すべきとの意見があった。

以上、審査の結果、賛成多数により採択とすべきものと決定。

◆本会議での主な討論

(委員会での質疑、討論と同様の主旨の発言のほか)

- ・議員定数等の議論を長く扱ってきているが、市政の課題に優先的に取り組むべき。(反対)
- ・前回選挙の定数割れが、偶発的な



## ご意見・ご要望

市議会だよりについて、ご意見・ご要望をお受けいたしますので、下記までお寄せください。

### 連絡先

岡谷市議会事務局  
TEL23-4811 (内線1711) FAX22-6213

### メール

gikai@city.okaya.lg.jp

各議案に対する議員の採決態度については、ホームページをご覧ください。



### ホームページ

http://www.city.okaya.lg.jp/  
okayashigikai/

事情が重なった一過性のものがある。議員の負担増にもつながる。(反対)

・アンケート結果でも民意が示され、人口減少が見込まれる状況にあつて、結論を出すべきものである。(賛成)

※以上、賛成多数により採択とすべきものと決定。

## ○令和7年 第1回定例会(全会一致により可決された議案等)

| 議案番号   | 件名                                        | 議案番号   | 件名                                                                 |
|--------|-------------------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------|
| 報告第1号  | 専決処分の承認を求めることについて(令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第10号)) | 議案第19号 | 旧渡辺家住宅保全基金条例を廃止する条例                                                |
| 報告第2号  | 専決処分の承認を求めることについて(令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第11号)) | 議案第20号 | 岡谷市手数料条例の一部を改正する条例                                                 |
| 議案第1号  | 岡谷市等公平委員会委員の選任について                        | 議案第21号 | 岡谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例                           |
| 議案第2号  | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて                  | 議案第22号 | 岡谷市都市公園条例の一部を改正する条例                                                |
| 議案第3号  | 岡谷市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例              | 議案第23号 | 岡谷市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例                              |
| 議案第4号  | 岡谷市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例                 | 議案第24号 | 岡谷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例                                         |
| 議案第6号  | 岡谷市保育所条例の一部を改正する条例                        | 議案第27号 | 令和7年度岡谷市地域開発事業特別会計予算                                               |
| 議案第7号  | 令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第12号)                    | 議案第28号 | 令和7年度岡谷市分収造林事業特別会計予算                                               |
| 議案第8号  | 令和6年度岡谷市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)             | 議案第29号 | 令和7年度岡谷市公園事業特別会計予算                                                 |
| 議案第9号  | 令和6年度岡谷市水道事業会計補正予算(第2号)                   | 議案第30号 | 令和7年度岡谷市温泉事業特別会計予算                                                 |
| 議案第10号 | 令和6年度岡谷市下水道事業会計補正予算(第1号)                  | 議案第32号 | 令和7年度岡谷市湊財産区一般会計予算                                                 |
| 議案第11号 | 令和6年度岡谷市病院事業会計補正予算(第6号)                   | 議案第33号 | 令和7年度岡谷市水道事業会計予算                                                   |
| 議案第12号 | 岡谷市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例      | 議案第34号 | 令和7年度岡谷市下水道事業会計予算                                                  |
| 議案第13号 | 令和6年度岡谷市一般会計補正予算(第13号)                    | 議案第35号 | 令和7年度岡谷市病院事業会計予算                                                   |
| 議案第14号 | 岡谷市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例等の一部を改正する条例      | 議案第36号 | 岡谷市教育委員会教育長の任命について                                                 |
| 議案第15号 | 岡谷市職員定数条例の一部を改正する条例                       | 議案第37号 | 岡谷市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例                                      |
| 議案第16号 | 岡谷市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例           | 議案第38号 | 福祉医療給付制度を国の制度として確立することと、医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める意見書 |
| 議案第17号 | 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例          | 議案第36号 | 岡谷市教育委員会教育長の任命について                                                 |
| 議案第18号 | 岡谷市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例                | 議案第37号 | 岡谷市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例                                      |

## ○令和7年 第1回定例会(賛否が分かれた議案等一覧)

| 議案番号   | 件名                                                          | 審議結果 | 今井 康善 | 秋山 良治 | 土橋 一学 | 花岡 健一 | 山崎 仁 | 小松 壮 | 藤森 弘 | 宇野 香二 | 田村 みどり | 酒井 和磨 | 上田 澄子 | 早出 すみ子 | 今井 浩一 | 渡辺 太郎 | 吉田 浩 | 中島 秀明 | 笠原 三郎 | 丸山 善行 |
|--------|-------------------------------------------------------------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 議案第5号  | 岡谷市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | 議長    | ○     | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ×     | ×      | 欠     | ○     | ○    | ○     | ×     | ○     |
| 議案第25号 | 令和7年度岡谷市一般会計予算                                              | 原案可決 | 議長    | ○     | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ○     | ×     | ×      | 欠     | ○     | ○    | ○     | ×     | ○     |
| 議案第26号 | 令和7年度岡谷市国民健康保険事業特別会計予算                                      | 原案可決 | 議長    | ○     | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ×     | ×     | ×      | 欠     | ○     | ○    | ○     | ×     | ○     |
| 議案第31号 | 令和7年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計予算                                     | 原案可決 | 議長    | ○     | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ○      | ×     | ×     | ×      | 欠     | ○     | ○    | ○     | ×     | ○     |
| 請願第4号  | 選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書の提出を求める請願                                | 不採択  | 議長    | ×     | ×     | ×     | ×    | ×    | ○    | ○     | ×      | ○     | ○     | ○      | 欠     | ○     | ×    | ×     | ×     | ×     |
| 請願第5号  | 岡谷市議会議員定数削減などを求める請願                                         | 採択   | 議長    | ○     | ×     | ○     | ○    | ○    | ×    | ×     | ○      | ×     | ×     | ×      | 欠     | ○     | ○    | ○     | ×     | ○     |

議長は議長職のため採決に加わらない

○：賛成

×：反対

趣旨採択

請願の趣旨について採択する決定方法。

## 編集後記

本誌は2年間、私共議員7名で作成をしてまいりましたが、今回の39号をもって任期を終了いたします。市民の皆様に見えやすく、わかりやすく、また見てみたいと思ういただけるものを作ろうと心がけてまいりましたが、いかがでしたでしょうか。

表紙には「岡谷市の魅力発信」をテーマに市内高校生や市民の方々から頂戴した写真の掲載、また裏面には岡谷市の今昔物語と銘打って岡谷市内の今と昔の風景写真の比較や、議会と市民の皆様との懇談会やイベントの様子を掲載してまいりました。ご協力を頂きました多くの皆様に厚く御礼を申し上げます。

次号より新たなメンバーにより作成されたものが皆様のお手元にお届けいたしますので楽しみにしていってください。

(広報広聴委員長 小松 壮)

## 議会広報広聴委員会

委員長：小松 壮

副委員長：早出 すみ子

委員：宇野 香二

今井 浩一・渡辺 太郎  
吉田 浩・山崎 仁

# 議会改革検討委員会の報告

## （議員定数及び議員報酬等の議論について）

### 議会改革の推進に向けて

議会改革検討委員会は、議会改革の継続的な取り組みを推進するため、設置されるものと規定され、全議員を委員として構成、活動しています。一般質問方式、予算、予算議案の審査方法、ICTの活用方法などのほか、社会経済情勢の変化も踏まえた、議員のなり手不足解消に向けた検討では、無投票の解消、多様な人材が選挙に出馬できる環境の整備などの視点で改革に取り組んできました。

#### 経過報告

・10月3日、カノラホールでの「議員のなり手不足に向き合う」シンポジウムでは、北川正恭氏を招き、岡谷市議会のあるべき姿を市民の皆さんと緒に考えるとともに、その後の市内6会場での対話集会を通じて、議員定数と議員報酬に関し市民の皆さんの考えを聴取し、各会場と議会だよりに掲載したWEBアンケートによって市民の声を広く集めてきました。（議会のひろば37号、38号に掲載）

・1月から2月に、上記アンケート結果を基に各委員の考えを確認した上で検討を重ね、その中で、今後の委員会での協議と検討に向けての方向性をだすため、委員の意見を取りまとめ正副委員長案として「議員定数削減と議員報酬増額を委員会に諮りました」が、出席議員の2/3以上の賛同を得られ

なかつたことから、本委員会の現正副委員長の任期（4月末）では、この件については取り扱わないという結論に達しました。尚、本委員会では、議会改革に関する協議と検討をしての方向性を決めていく場であり、議決を目的とした場ではありません。その決め方は、全員一致が原則となっていますが党派等における協議を経ても全員一致とならない場合は、出席委員の2/3の賛同により方向性を決めることになっています。（2月4日同委員会にて）

※議員定数については、現時点（4月時点）で議会として具体的な動きが決まっていますが、今後市民の皆様から頂いたご意見を踏まえ、様々な改革の議論を継続していきます。

（文責：議会改革検討委員会正副委員長）



昨年開催された「対話集会」

## 令和6年度議会報告会 開催

令和6年度議会報告会を開催しました。

令和6年度の議会報告会を、令和7年3月25日（火）午後7時からカルチャーセンターにおいて「夢と希望がもてるまちづくり」を副題とし、第1部で令和6年度の議会活動の報告、第2部で意見交換会を実施し、17人の市民の方にご参加いただきました。

### 第1部議会報告

議会運営委員会、議会改革検討委員会、3常任委員会の所管や取り組みの概要説明。

### 第2部議会報告

テーマ：「①岡谷駅周辺整備事業」、「②川岸学園整備事業」、「③その他」

①、②では、令和6年度、議会内に組織した特別委員会の概要について報告ののち、意見交換をしました。

①では、「将来に負担を残すような箱ものの建設はいらない」、「様々な団体などでまちづくりの議論に取り組んでいるが、特別委員会がどのような取り組みができるか」といった意見等、②では、市の事業の進め方、市民の意見、思いの反映などに関して率直なお気持ちが出されるなど活発な意見交換が行われ、限られた時間では議論が尽きず、会議を延長し大変貴重な機会となりました。

引き続き市民皆様の思いを丁寧にお聞きし、市に届けて参ります。

